

要望書（回答）

1. 分離発注について

近年、プロポーザル方式等新しいタイプの発注方法を行う事が見られますが、電気工事及び電気通信工事は他工事の付帯的な扱いを受ける部分があり、品質確保、施工責任とコストの明確化の観点から、従来から分離発注の推進をお願いしているところです。今後とも益々の分離発注の促進をお願い申し上げます。

【回答】（財政部契約課 担当）

建設業界における人手不足等を背景に、工期短縮や事業効率の観点から、プロポーザル方式などによる一括発注とするケースがございますが、従来どおりの工事発注につきましては、今後も公契約基本方針に基づき、適切かつ合理的な範囲で、可能な限りの分離発注に努めて参ります。

（都市建設部設備課 担当）

分離発注につきまして、都市建設部といたしましては、過去5年間の実績ベースで、ほぼ100%分離発注しているところであり、今後も引き続き分離発注に努めてまいりたいと考えております。

2. メーカー対象工事について

主要資材等の関係でメーカーに発注される工事でも地元電気工事業界が関われる公示内容でのご発注をお願い申し上げます。

理由としまして、企業体の構成員となる事で、知識、技能を習得する事が出来、地元企業として技能の向上を図ることが出来る事、さらに万が一のトラブルが発生した時にはメーカー技術者と連絡を取り合い初期対応が可能である事。

この様に地場での初期対応により市民生活に重大な影響を与える事態を回避し安心安全を守ることが、私たち苫小牧電業協会の使命であり理念とする事から今後このような工事発注がある際には是非とも実現頂けますよう宜しくお願い申し上げます。

【回答】（都市建設部設備課 担当）

メーカー対象工事につきまして、専門的な資材やノウハウを要するような工事については、技術力向上の観点からも地元企業の活用を最優先に工事発注しているところがございますが、特殊な事情で製造メーカーと契約しなければならない様な場合におきましても、地元企業の活用となるよう引き続き努めてまいりたいと考えております。

3. 地球温暖化防止・電力需給対策について

低炭素社会実現の為、CO₂をまったく排出しない、クリーンな自然エネルギーの計画的な導入と既設電気設備への省エネ機器、LED照明器具の積極的な導入をお願い申し上げます。

また、次年度以降も計画の街路灯設置工事につきましては、是非従来通りのご発注をお願い申し上げます。

【回答】（都市建設部設備課、都市建設部維持課 担当）

地球温暖化防止・電力需給対策につきましては、これまでも省エネ効果の高い機器を選定しているほか、平成28年度の発注工事から特殊用途以外は、すべての照明器具にLEDを採用するなど、CO₂の削減を図っておりますが、本年8月には2050年までに二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」への挑戦を宣言したところでもありますので、自然エネルギーの導入について、改めて関係部署と協議を進めてまいりたいと考えております。

そのほか、街路灯設置工事につきましては、次年度以降も引き続き地元企業を活用した工事発注に努めてまいりたいと考えております。

（環境衛生部環境保全課 担当）

再生可能エネルギーの導入については、PPA方式による市有施設への太陽光発電設備導入や、現在、沼ノ端クリーンセンターで行われている廃棄物発電の有効利用等について検討しております。なお、一般住宅への再エネ・省エネ機器の導入につきましては「苫小牧市新・省エネルギーシステム補助事業」を実施しており、引き続き、太陽光発電設備や蓄電池、エコキュート等の普及に努めてまいります。

市有施設におけるLED化については「市有施設におけるLED照明の促進に関する指針」に基づき、原則、新築施設は全照明へのLED導入、既存施設においても改修や更新時にLED化を行っております。

また、市内の再生可能エネルギー普及のため、市有施設のPPA事業を行う際は、地元事業者への配慮を求めてまいります。

2050年ゼロカーボンシティの実現には、徹底的な省エネ、積極的な再生可能エネルギーの導入が必要不可欠です。事業者の皆様におかれましても、より一層の御協力をよろしくお願いいたします。

4. 早期発注について

電気工事業は通年雇用の為、人件費が著しく経営を圧迫させている状況でありますので、予算成立後の早期発注をお願い申し上げます。

【回答】（財政部契約課 担当）

本市では、毎年、年度当初の4月に発注計画を示し、今年度は上半期で96%程度の

団体名：苫小牧電業協会

回答日：令和3年12月3日

目標発注率を設定して早期発注に取り組んでおります。

発注計画につきましては、補助事業の申請事務や、施工内容の見直し等により多少遅れる場合がございますので、御理解願います。

(都市建設部設備課 担当)

早期発注につきましては、今年度の設備課発注工事におきまして、7月までには全体の約85%以上の電気工事を発注済みでございます。

今後も引き続き、施設利用制約がある工事を除いては、早期発注に努めてまいりたいと考えております。

5. 受注機会の増大について

電気工事の発注件数は、近年減少状況が続いていますことから、規模の大きい工事につきましては分割して発注するなど、工事発注件数を極力増やし、受注機会の確保にご配慮して頂きますようお願い申し上げます。

【回答】(財政部契約課 担当)

工事の発注につきましては、苫小牧市公契約基本方針に基づき、競争性を確保しつつ、地元企業の優先活用を図り受注機会の確保に配慮するとともに、適切かつ合理的な範囲で、可能な限りの分離発注に努めて参ります。

(都市建設部設備課 担当)

受注機会の増大につきましては、営繕工事におきまして、各年度で事業規模が大きく変動する分野ではございますが、今後も規模の大きい工事は複数に分離して発注するなど、可能な限り発注件数を考慮しながら、受注機会の確保に努めて参りたいと考えております。